

第45回とまみん杯道南オープンゴルフ選手権競技 競技規定

【競技の条件】

- 1、**ゴルフ規則**
(公財)日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技ローカルルールを適用する。
- 2、**競技委員会の裁定**
競技委員会は競技の条件を修正する権利を有し、全ての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 3、**使用球の規格(ゴルフ規則5-1注)**
 - (1)『ゴルフ規則付I(B)1b 公認球リスト』を適用する。(ゴルフ規則177ページ参照)
 - (2)ラウンド中に使用する球について『ゴルフ規則付I(B)1c ワンボール条件』を適用する。(ゴルフ規則178ページ参照)
- 4、**使用クラブの規格**
『ゴルフ規則付I(B)1a 適合ドライバーヘッドリスト』を適用する。(ゴルフ規則176ページ参照)
- 5、**プレーの中断と再開(規則6-8)**
 - (1)プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)についてはゴルフ規則6-8b、c、dに従って処置すること。
 - (2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組みの競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格。(ゴルフ規則6-8b注)
 - (3)プレーの中断と再開の合図については、本部より競技委員を通じて競技者に連絡。
- 6、**練習(規則7)**
『ホールとホール間の練習・ゴルフ規則付I(B)5b』を適用する。(ゴルフ規則181ページ参照)
- 7、**移動**
『正規のラウンド中の移動について・ゴルフ規則付I(B)8 移動』を適用する。(ゴルフ規則183ページ参照)
- 8、**キャディー**
本競技は帯同キャディーは認めません。
- 9、**タイの決定方法**
1位がタイの場合は競技委員会が指定したホールにおいて即日ホールバイホールのプレーオフを行い、優勝者を決定する。ローアマチュアについても同様とする。
- 10、**競技終了時点**
全ラウンドを終了し、競技委員会が公式スコア集計用紙に記入された内容に間違いがないことを確認して終了時間を記入、署名・承認公表した時点で競技終了とする。(ゴルフ規則34-1b)

【ローカルルール】

- 1、アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 2、修理地は青杭で囲む、または青杭を立てて白線をもってその限界を標示する。
- 3、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。ウォーターハザードは黄杭または黄線をもってその限界を表示する。
- 4、No.13ホールのプレーで球がラテラル・ウォーターハザードに入ったことが分かっているか、ほぼ確実な場合、競技者はゴルフ規則26-1(a、b、c)に基づく処置のほか、1打の罰を加えた上、指定ドロップ区域からもプレーすることができる。
- 5、動かさない障害物(ゴルフ規則24-2)
 - ・人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
 - ・芝生保護のためコース内に敷いてある人工(プラスチック製またはゴム製など)の歩経路は人工の表面を持つ道路とする。
- 6、No.2、No.7、及びNo.11、No.20、No.24のPar3ホールの間にある防球ネットによる障害

(ゴルフ規則24-2a)のため、ゴルフ規則24-2bの救済を受ける場合には、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずにニヤレスポイントを決定しなければならない。この違反の罰は、2打。

- 7、グリーンに近接する動かさない障害物について、『ゴルフ規則付I(A)4a』を適用する。(ゴルフ規則165ページ参照) なお、バンカー内の石は動かせる障害物とする。
- 8、地面にくい込んでいる球(ゴルフ規則25-2)
スルーザグリーンのどこでも球がくい込んでいる場合は、救済することができる(砂地の場合を除く)。
- 9、異常なグラウンド状態(規則25-1)
パッティンググリーンの奥行きを標示するためのペイントマーク及びスルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤードージのペイントマークは修理地とみなされる。しかしながらペイントマークがプレーヤーのスタンスの障害となってもそれ自体は規則25-1に基づく障害とみなされない。球がそのペイントマークの中にあるか、触れている場合、またはそのペイントマークが意図するスイング区域の障害となる場合、規則25-1bに基づいて救済を受けることができる。
- 10、パッティンググリーン上で球が偶然に動かされた場合は、プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやパートナー、相手、またはそのいずれかのキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーは規則18-2や規則20-1に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注:パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態ではプレーされなければならない。そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースされることになる。
- 11、プレーヤーは距離計測器の使用によって距離の情報を得ることができる。正規のラウンド中にプレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件(例えば、標高変化、風速など)を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則14-3の違反となる。
- 12、スコア誤記の例外
どのホールであっても、競技者がスコアカードを提出する前には罰を受けていたことを知らずに1打または複数の罰打を含めなかったために、真実より少ないスコアを提出していた場合、その競技者は競技失格とはならない。このような状況では、その競技者は該当する規則に規定されている罰を受けるが、規則6-6bに違反したことに対する追加の罰はない。該当する罰が競技失格である場合にはこの例外は適用しない。

【注意事項】

- 1、競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときはクラブハウスに掲示する。
- 2、グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 3、競技者は指定のスタート時刻10分前までにティグラウンド付近に待機し、競技委員より競技用スコアカードの交付を受けること。
- 4、スコアカードの提出はエリア方式を採用する。
- 5、プレーの進行に留意し、先行組みとの間隔を空けないように注意すること。プレーの不当な遅延については、ゴルフ規則6-7を適用する。(ゴルフ規則70ページ参照)
- 6、競技当日のスタート前の練習は指定練習場所にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人30球を限度とし有償とする。
- 7、落下地点の安全確認及びプレー促進のためフォアキャディーを配置し、旗を掲げて指示する。
赤旗:落下地点に前の組がいるので、プレーしてはいけない。(必ず指示に従うこと)
白旗:落下地点があいているので、プレーできる。
青旗:アウトオブバウンズまたは紛失の恐れがある。(暫定球のプレーを勧める)
- 8、欠席者のあるときは本スタート時刻及び組み合わせ表を変更する場合がある。